

ニューリーダーへの挑戦

講師 木島 則夫 氏

昨年10月党籍を離れ全く自由な立場で評論活動をしているので、はつきりとものをいいたい。

今年の初詣は、寒さのせいか例年より少なめであつたが若い人が多くなつたことは結構なことと思ふ。

は違憲でないとして恒例行事としていながら靖国神社については問題の最中なので初詣は差し控えていた。

海原には大空に散華せし 君らこえなくいく春やへし

最近若い人の中には棚上げの考えの人が多くなつていゝ。

もう一つの例だが、日本の二千年の悠久な、そして多彩な歴史をわずかの視点で軍国主義・封建制度という観

貫教育ができてきたかどりかを検討するのはあたりまえで同感である。

昭和二十年八月十五日、敗戦の中で何を残し何を捨てるのかの余裕もなく味増もくそも一語に捨てられてしまつた。その中には、すばらしい日本の伝

統文化や精神があつたのだ。人間が何代もかかつてきつた。一度捨てられたものはなかなかもどつてはこない。その愚かさを戦後四十年余たつてようやく自覚しつゝある。

子供達よりも組織が大事な日教組、視聴率を上げるためにプライベートやスキヤンダラスな番組をつくるマスコミの世界、こんな中で育つた子供達がこれからの日本を担うのである。大変なことと思ふ。

神社は農耕と深く係わりながら育つてきた。大都會の中には、木や野菜がどのようにつか知らぬ人達がほとんどであり、その人達はまた核家族という形態で、しかも団地住いである。核家族になると冠婚葬祭などの先祖伝来のまつりなどは切断されてしまふ。出版されていく本を讀んでもよくわからぬはずである。このことだけでも都會の神職の環境は大変なものと思ふ。

この厳しい環境でいつたい地域の人間とどう接点をもち接触をもつたら良いのか。祭礼として神輿は、地域・氏子の人との接点であり大きなコミュニティ・シヨンの場とも思ふ。

地方自治体では、文化財保護協議会がある。こんな場も徹底的に利用し積極的に発言し、精神文化・伝統文化を育てていく大きな手掛りにしていつて欲しい。

神社の存するところ全てとはいかないが、うつそりとした緑の森が残つていて、信仰の対象だから緑が大切にされてきた。しかし、環境破壊が急速に

形をかえて行われている。その中で緑を本当の意味で守つてゆくのが神職である人達の手でなければならぬと思ふ。公園だけが都民のオアシスではない。

どんなに科学技術が発達しても物が豊かになつても、人間はそれだけでは心の豊かさ、心の安定はもちえないといふ、このところが大切である。

精神的なよりどころを求めようとする兆しがよくよくここで芽ばえてきた。その中で果す神社の役割は、日本の伝統文化・精神の担手であり継承者である。妥協や途中で志をおつてしまつては日本がどうなつていくことか。

新しい日本のバックグラウンドにならねばならぬ精神文化をつくり直して欲しい。氏子へ対する働きかけは、政党活動と同視してはいけぬが、日本の歴史の悠久さ多彩さを考えるならば、他の歴史の見方・考え方もどううと受けてたちはね返す機会をもつて欲しいし、郷土の歴史をもつと知つてもらう為に又社の歴史を知らせていく為にも氏子との会合の場を積極的につくつていつたらどうだろうか。誇りをもち、日本の歴史は多彩なんだというバックグラウンドのもとに話しをすれば恐れるものはない。

(二月十三日青年会新年会時の講演内容を要約したものです)

神道青年会に入会して  
北多摩神道青年会むらさき会

渡辺卓利

神道青年会の皆様の暖かいお心に依り北多摩神道青年会むらさき会々員五名は此の度、神青会に入会させて頂くことになりました。

本年の干支は「甲子」で十二支の最初の年でもあります。故に新しい魂と魂をぶつけあい良き会の歴史と発展、真と理を啓蒙し、お互いに協力し合い各々の立場で最善をつくして行きたいと思ひます。

すでに会の中だけで親睦を深めていく時代は去つたように思われます。地域社会を発展させる原動力になろう」と言うことです。

その一例として若人に親しまれてい「野球」や文化活動を通じて他の分野の人々とのコミュニケーションをはかり、それによつて神社を理解していただく必要がなければなりません。交流するとは二次的に神社理解・再確認の機会ともなります。

もう一点は「神職の価値観を高めよう」と言うことです。地域社会の原動力となるべき神職が日頃時間に流されて生きていくよりでは情けないような気がしません。原点に振り返り慣習に流されることなく、疑問点「どうして、なぜ」を追求し、心の革新を続けて行く事が必要だと思ふのです。時代の流れの中に普通の真理を見出し出て行かない。

この二点を心にとめて会の一角で会員としての役割を果たして行きたいと思ひます。

此の度の機会を得たことは、私達の神職生活にとつて大変意義深いこととなるのではないでしようか。

神青会が千年の巨樹木に繁栄することを祈念し、皆様のご期待に添うべく努力するつもりでございます。

今後とも何卒御先輩方のご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

東京都神青会入会にあたり

靖國神社有志一同

東京都神青会押見会長以下会員の方々のご好意により此度、靖國神社に奉職する若手神職有志一同、神青会の活動に参加することになりました。

神青会の皆様のご熱意に対し御礼申しあげます。

遅きに失した感はまぬがれませんが今後共よろしくお願い致します。

現在全国各地での政教問題は、神界の大きな問題となつております。靖國神社問題もしかりであり、神界のこの問題に対する積極的な取り組みは心強いかがりです。

靖國神社に奉職する者といたしましは、ご遺族方の心情を思い、人間の原点に立つた一日も早い解決を切望致しております。今後我々も仲間に入れていただき、はげみとさせていただきます。と共に、友情の輪を広げていきたいと考えております。よろしくおつきあいをいただきます様お願い致します。